

令和 7 年度 道德教育 全体計画

学校 番号	47	諏訪実業 高等学校	課程	商業 会計情報 服飾 科
----------	----	-----------	----	--------------------

学校教育目標 1 学校におけるあらゆる教育活動を通して、社会的資質の向上、キャリア能力の育成、個性の伸張を図り、真に豊かな教養と実践力を持つ社会人の育成を目指す。 2 学力を保証し、人間的成長を保証し、進路を保証する高校を目指す。 重点目標 ①いじめ・暴力のない「安心・安全」な学校をつくります。 ②身だしなみを整え、あいさつと清掃を進んで行う生徒を育てます。 ③授業を大切にし、生徒の基礎力と専門性を伸ばします。 ④地域と連携し、地域に貢献することができる人材づくりを進めます。	道德教育の重点目標 1 他者や集団との関わりを通して、自己及び他者理解を深め、生命の尊重、いじめ・暴力を許さない心を育てる。 2 基本的生活習慣を確立し、自ら進んで身だしなみを整え、あいさつと掃除を行えるように自立心や自律性を高める。 3 地域と連携した諸活動を通して、地域の伝統や文化を尊重し、主体的に地域社会の形成に参画する人材を育成する。
---	--

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	・お互いの人格を尊重し、相手の立場に立った言動ができるようになる。 ・社会的生活習慣を確立し、高校生として自覚ある行動をとる。	・社会的生活習慣の確立 ・自己を理解する ・進路についての関心を深める ○就業体験 ○諏訪実ニッセイ ○2 年次科目（コース）選択 ○諏実タウン	・集団の中で一人ひとりが自己の役割を認識し、協力し合う態度を育てる。 ○文化祭 ○SNS講話 ○薬物・性被害防止講話 ○特別支援講演会	・部活動や委員会活動に積極的に参加し、学校生活の充実や向上を目指す態度を育てる。 ○クラスマッチ ○部活動 ○生徒会活動	国語	グループワーク等の中で、語る言葉や書く言葉を意識させ、お互いの気持ちを想像しながらコミュニケーションを図る力を養う。
2 年	・規律・規範を重んじる姿勢を身に付け、下級生の模範となるべき自覚を持たせる。 ・学校行事や生徒会活動に主体的に参加する態度を育てる。	・コミュニケーション能力の育成 ・自己理解を深める ・働くことについて考える ○就業体験 ○3 年次科目選択 ○大学生活体験 ○諏実タウン ○諏実探究	・集団の中でお互いを理解し、認めあい、協力する態度を育てる。 ○文化祭 ○修学旅行及び事前学習 ○SNS講話 ○薬物・性被害防止講話	・生徒会活動に積極的に参加し、また他者と協力することを通して、主体的に行動できる態度を育てる。 ○クラスマッチ ○生徒会の運営 ○部活動	地理歴史	社会との関りを意識して課題を追求し、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育てる。
3 年	・社会の一員としての役割や義務を理解し、法令を遵守するよき社会人としての自覚を養う。 ・学習活動や学校行事において、他者と協力し、さらにリーダーシップを発揮できるようにする。	・自己確立、自己表現 ・進路実現を目指す ○高校生のための企業研究会 ○各種進路行事 ○諏実タウン ○学習成果発表会	・集団での活動を通して、協調性を養い、自己の役割と責任を自覚して意欲的に行動できる態度を育てる。 ○文化祭○SNS講話○薬物・性被害防止講話	・社会と一員としての自覚、さらに地域社会に意欲的に貢献できる態度を育てる。 ○生徒会の運営 ○文化祭の企画・運営 ○クラスマッチ ○部活動	公民	社会の仕組みを学ぶ活動を通して社会における自らの役割を認識し、地域社会を愛し活躍しようとする態度を養う。
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、好奇心や豊かな感性、考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象について探究する活動を通して、生命尊重や環境保全を行う意識や態度を養う。また仲間と協力しながら観察・実験することで課題解決力を育む。
					保健体育	保健、体育の見方や考え方や各学習過程の中で、ひとりひとり異なる様々な変化・違いを認識し、個々を大事にしていける態度を養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語（英語）を学び、合わせて文化の理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	家庭や地域社会など身の回りの生活を再認識し、社会の一員として人生を見直し、生き方や自身の価値観見つめる態度を育成する。
					情報	情報処理・生活産業情報にて代替て行い、情報を社会の中で適切に活用できるようになるための基本的な考え方や態度を身に付ける。
					商業	ビジネスの見方・考え方を働かせ、ビジネス社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	課題研究にて代替て行い、地域との連携を含めた作品製作、イベント企画、実習によって主体的・協働的な取組をとる地域社会に自ら参加する態度を養う。

特別支援講演会（1学年対象に性被害防止キャラバン、5月22日）
（1学年第 1 回SST講習会6月25日※3回実施予定）
（2学年SST講習会第2回より1学年に合流予定）
（3年生対象にデートDV防止啓発セミナー、11月6日）

家庭・地域 との連携	・地域と連携した協働的・探究的な学習活動を通して、地域社会の文化や伝統、課題等を理解し、地域社会の発展に意欲的に貢献できる人材を育成する。 ・家庭にはホームページ、メール配信システム等を活用して情報を発信し、またPTA諸行事、公開授業などを通して、家庭と学校の連携強化を図る。
---------------	---